

「とちぎの元気な森」を次の世代に引き継ぐために

とちぎの元気な森づくりNEWS

平成22年夏号 VOL. 16



写真：きのこの栽培体験
(鹿沼市入粟野：栃木県 21 世紀林業創造の森)
—とちぎ「森の楽校」事業—



特集 平成22年度「とちぎの元気な森づくり県民税」
事業の概要

森のなかまたち 第5回 森の中の女王 キヌガサダケ



「キノガサダケ」は主に竹林に発生するきのこで、白いドレスをまとった美しい姿から「きのこの女王」と呼ばれています。きのこは菌蕾という卵状のものから発生し、成長が始まると数時間で完全に成長します。見た目とは裏腹に女王様からは異臭が放たれます。傘の部分のグレバという胞子を含む場所から臭いを放ち、虫を誘引して胞子の分散を行うためです。中華料理では高級食材として扱われ、その独特なシャリシャリとした食感から、高い人気を集めています。

特集 平成22年度「とちぎの元気な森づくり県民税」事業の概要

「とちぎの元気な森づくり県民税」によって次の取

元 気 な 森 づ く り

県が実施
します

とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業

公益的機能の発揮が求められているにもかかわらず、荒廃しているスギ・ヒノキの人工林に間伐を行い元気で安全な森林に再生します。

間伐による整備

【対象森林】
スギ・ヒノキの人工林で公益的機能の発揮が特に求められているにもかかわらず、過去15年以上手入れがされず、間伐等の整備を必要とする森林

【実施内容】
間伐を実施します。
(間引く割合を通常よりも高めます。)

【実施森林の保全措置】

実施森林は、整備協定締結と保安林指定によって土地転用禁止等の保全措置がとられます。

獣害対策

【対象森林】
獣害被害を受けた0.1ha以上の人工林

【実施内容】
樹木に被害防止資材を巻き付けます。

森林バイオマス利用モデル事業

伐り捨てられた間伐材をバイオマス資源として活用するための造材・集積及び搬出の整備をモデル的に実施します。



荒廃した森林



整備された健全な森林

市や町が
実施します

明るく安全な里山林整備事業

将来まで守り育てるために

希少な野生動植物などが生息・生育する自然環境や優れた自然景観を保全したり、自然とのふれあい機能を向上させるために、地域が将来まで守り育て残したい里山林を整備・管理します。

【実施内容】
藪の刈り払い、樹木植栽、歩道整備、標識設置、整備後（4年以内）の管理など

通学路等の安全安心のために

通学路沿いや住宅地周辺にある暗くうっそうとした里山林等を整備します。

【実施内容】
景観や見通しの障害となる不要木の除去や藪の刈り払い、整備後（4年以内）の管理など



野生獣被害を軽減するために

野生獣被害が発生したり、発生する恐れのある田畑などに隣接する里山林等を整備し、野生獣を人里に近づけないようにします。

【実施内容】
獣害が発生したり、発生する恐れのある田畑などに隣接する里山林にある不要木の除去や藪の刈り払い、整備後（4年以内）の管理など



【実施森林の保全措置】

実施森林は、整備協定締結によって、土地転用の禁止等の保全措置がとられます。



[整備前]



[整備後]

将来まで守り育てる里山林整備事業(矢板市)

税収・約8億6千万円の内訳

奥山林の整備
(約4億9千万円)

里山林の整備
(約2億4千万円)

森を育む人づくりや広報、
事業の評価・検証
(約1億3千万円)

組を皆さんと一緒に進めていきます

森を育む人づくり

県民の皆さんが広く森づくりに参加できるよう支援します。
森とのふれあいや木を使うことを通じ森林の大切さを普及啓発します。

県が実施 します

とちぎ森づくり 情報センター事業

森林・林業・森林ボランティアに関する様々な情報を収集、発信する「とちぎの森づくり」ホームページを開設し、森づくり活動のコーディネートやサポートを行います。
企業等の森づくり活動を支援します。

<http://mori.ecomori-tochigi.jp>

とちぎの森づくり

検索

(地球温暖化対策課)

とちぎ「森の楽校(がっこう)」事業

森林に親しんだり、森づくり活動を行う人材の育成を図るための体験講座を開催したり、子どもたちの森林環境学習のための資料作成や指導者育成などを行います。



指導者研修(木工工作)



下刈り作業(県民の森)

(地球温暖化対策課)

元気な森を育む 木の良さ普及啓発事業

奥山林整備で発生した間伐材を活用し、小中学校への学習用机・椅子の提供や、多くの県民が利用する施設への木製ベンチの配布を行います。



大田原市立黒羽中学校(林業振興課)

とちぎの元気な森づくり県民会議事業

県内各界の団体や一般公募者等により設立された「とちぎの元気な森づくり県民会議」では、森づくり推進・木づかい推進・普及啓発の3つの部会を中心に、森づくり体験活動や木工教室など県民の皆さんに参加いただける身近な活動を通じて、県民協働の森づくりを推進しています。

◆イベントの開催は随時HP等で御案内します。

◆活動状況等については、情報誌「とちぎの元気な森づくりNEWS」で紹介しています。

(バックナンバーは下記のサイトでご覧いただけます。)

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/eco/shinrin/zenpan/1202345320422.html>



元気な森づくりの日記念森づくり体験活動
(森づくり推進部会活動)

市や町が 実施します

森づくり活動地域支援事業

市や町が行う、市民やボランティアを対象とした森づくり活動、子どもたちの森林環境学習などを支援します。

特色ある緑豊かな地域推進事業

名木保全や広域的な森づくり活動など住民のニーズに即した地域の創意工夫を凝らした特色ある取組を支援します。



もったいないの森長岡植樹祭(宇都宮市)

木の香る環境づくり支援事業

公共オープンスペースでの木材利用、公共施設の木造・木質化や地域における木の良さ普及活動などを支援します。



みぶハイウェイパーク あずまや(壬生町)

10月16日は「元気な森づくりの日」



県民の皆さんに森づくりを身近に感じていただき、森づくり活動に様々な形で参加・協力いただけるよう“とちぎの元気な森づくり”の推進母体「とちぎの元気な森づくり県民会議」設立日である

10月16日を、『元気な森づくりの日』に制定しました。

この日を中心に、森づくりの必要性について考える催しや皆さんに気軽に参加いただけるような森づくり活動などを行っていきます。

整備された里山林で記念植樹祭を開催 ～足利市「岡崎山」における将来まで守り育てる里山林整備～

今回の現地レポートは、とちぎの元気な森づくり県民税事業（将来まで守り育てる里山林整備）で整備した足利市寺岡町の「岡崎山」で開催された記念植樹祭の様子を紹介します。



岡崎山は、足利市東部の旗川沿いにある標高50mほどの小高い丘陵です。かつては全山がサクラに彩られ、地域の子どもたちの遊び場として賑わっていたそうですが、長年手入れされなかったため、最近では笹や雑木に覆われ、訪れる人も疎らな状況でした。そこで、足利市では、地元の寺岡町自治会と協力し、岡崎山の再生に取り組むこととしました。

平成21年度の県民税事業を利用し、森林組合により除間伐や藪の刈払い、歩道の整備が行われると、約5haの林内は見違えるように明るい森林に生まれ変わりました。

これを機に、岡崎山の森林を地元の人たちの手で守っていこうという機運を高めようと、平成22年5月9日、寺岡町自治会による記念植樹祭が開催されました。当日は、300人以上の親子連れの方たちが集まりました。整備された「つツジ平」、「萩の歩道」、「アジサイ坂」の3ゾーンに分かれ、自分の名前が入ったプレートをつけた萩やツツジ、アジサイなど、約500本の苗木の植栽を行いました。



子どもづれで参加したお父さんは、「自分が子どもの頃はいつもここで遊んでいました。岡崎山が、かつての子どもの遊び場としての姿を取り戻してくれて大変喜んでます。」と目を細めていました。

今後は、地元の方たちの手で、下刈りなどの管理作業を定期的に行っていく予定です。美しい里山の景観がいつまでも保たれることを期待しています。

取材：栃木県県南環境森林事務所

元気な森づくり県民会議 部会だより

定期総会

平成22年度定期総会が開催されました

5月18日（火）、県庁東館4階講堂で平成22年度とちぎの元気な森づくり県民会議定期総会が開催されました。

平成21年度の活動・収支決算報告、平成22年度の活動計画（案）・収支予算（案）について承認されたほか、役員の変更があり以下のとおり選任されました。

- 会長：須賀英之 宇都宮共和大学学長（再任）
- 副会長（森づくり推進部会長）：高村正勝 栃木県森林組合連合会代表理事会長（再任）
- 副会長（木づかい推進部会長）：山口武夫 栃木県木材業協同組合連合会理事長（再任）
- 副会長（普及・啓発部会長）：荒井憲志（社）栃木県緑化推進委員会理事長（再任）
- 監事：岡部正英 栃木県市長会副会長（新任）、若度哲久 栃木県PTA連合会会長（再任）



また、「企業等による森づくり推進事業」の県第1号で「トラックの森」づくりに取り組んでいる（社）栃木県トラック協会、太陽光・風力などの自然エネルギー分野がご専門で、「とちぎ環境立県戦略」の策定に座長としてご尽力いただいた牛山泉 足利工業大学学長に新たに県民会議にご参画いただくことが報告されました。

今後とも3つの部会を中心に、県民の皆さんが身近に取り組める活動を通じて森林や森づくりの大切さを広くPRしていきますので引き続きご協力をお願いします。

木づかい推進部会

県民の日記念イベントにおいて、「木工教室」を開催！

6月15日（火）に、栃木県庁において開催された県民の日記念イベントにおいて、木工教室を実施しました。

プランターと小物入れのキットを50セットずつ準備し、木工工作を楽しんでいただきました。用意したキットすべてが、お昼にはなくなってしまったほど、大盛況でした。

木のぬくもりや、ものをつくることの楽しさを実感していただくとともに、「とちぎの木を使うことが、栃木県の森林を元気にする」ことを学んでいただきました。

何年かぶりに、釘を打ちました。自分で作ったものなので、大切に使っていきたいです。





森づくりトピックス

2010マロニエメイツの任命式が行われました！



左側：生出悠子さん
中央：高根澤紘子さん
右側：中本紀子さん

みどりづくりや環境緑化の普及啓発活動を行い、また、栃木県のイメージアップ活動に参加するため選考されたマロニエメイツ3名の任命式が、4月5日（月）、栃木県議会議長室で行われました。

（社）栃木県緑化推進委員会会長である野田県議会議長から任命書の交付を受け、励ましのことばをいただいた3人は、「県土緑化の推進とふるさととちぎのイメージアップのため、一生懸命活動します。」と誓いを新たにしました。

マロニエメイツは、1年間の任期中、各地で行われる苗木配布会をはじめとする、各種緑化普及啓発活動に参加します！



県ホンダ会と

「とちぎの元気な森づくりの推進に関する協定」を締結しました！

ホンダ車を販売する県内46拠点で組織する栃木県ホンダ会と県は、昨年度に引き続き「とちぎの元気な森づくりの推進に関する協定」を締結しました。

昨年度の協定（県内のホンダ車販売拠点での1年間の新車売り上げ1台につき100円を「とちぎの元気な森づくり基金」に寄附するもの）に基づく1,561,200円の寄附の贈呈とあわせて、4月19日（月）に今年度の協定締結式を行いました。



今年度の協定では、栃木県ホンダ会が森林の保全・整備活動に積極的に参加いただくことが新たに加えられました。

県が昨年11月に策定した「とちぎ環境立県戦略」のリーディングプロジェクトの一つである、とちぎの元気な森づくりプロジェクトにも「企業等との協働による森づくりの推進」が掲げられています。地球と人にやさしい“エコ・とちぎ”の実現に向け、今後とも皆さんの積極的な森づくりへの参画をお願いいたします。

栃木県植樹祭が塩谷町で開催されました

～はじめよう 緑を増やす その一歩～



県民が一体となったみどりづくりを展開するため、5月15日（土）、塩谷町総合公園を会場として栃木県植樹祭と、とちぎグリーンフェアが開催されました。

植樹祭では、緑化功労者の表彰、ベニバナトチノキなどの記念植樹が行われたほか、「とちぎカーボンオフセット制度」の第1号認証として、（社）栃木県トラック協会への証書授与が行われました。

とちぎグリーンフェアでは、塩谷町内の名木100選をめぐるバスツアーが実施されました。また、植樹祭に参加した約80名の緑の少年団のみなさんには、「とちぎの元気な森づくり県民税」を活用した「マイはし作り」を体験していただきました。

税事業評価委員会の現地調査が実施されました

とちぎの元気な森づくり県民税により実施する事業の透明性・公平性を確保するとともに事業の推進に必要な事項を検討するため、とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会（委員長：笠原義人 宇都宮大学名誉教授）を設置しています。

評価委員会では、6月14日（月）、昨年度から新たに取り組んだ事業の実施箇所を中心に現地調査を実施しました。

宇都宮市の「もったいないの森長岡」では特色ある緑豊かな地域推進事業、那須塩原市では奥山林の獣害対策、大田原市ではピアートホール近辺の里山林の整備と黒羽中学校の元気な森を育む木の良さ普及啓発事業（奥山林の間伐材を使った机・いすの配布）の実施状況を調査しました。

この現地調査を含め3回の評価委員会において、平成21年度の事業の評価が行われ、その結果を9月に公表する予定です。評価結果については、本紙でもお知らせしていきます。



奥山林の獣害対策で使用しているネットについて説明を受ける委員

ー評価委員会について詳しくは県HPをご参照くださいー
トップ（環境）>森林緑化>とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会



元気な森づくり伝言板



★「第25回林業センター公開デー」を開催します★ ～あなたが主役、とちぎの元気な森づくり～

森林・林業・林産業に関する試験研究を県民の皆様にご覧いただくとともに、二酸化炭素を吸収・固定するなどの森林の公益的機能や県民協働の森づくりを進めることの大切さ、また、本県の優れた自然環境を保全する意義などへの理解を深めていただくことができます。

- 日時 平成22年8月21日(土) 10時～15時
- 場所 栃木県林業センター(宇都宮市下小池町280 TEL 028-669-2211)
- 主なイベント 研究施設の公開、林業機械の試乗体験、木材強度試験デモンストレーション、緑化樹苗木・しいたけ原木プレゼント、“とちぎのこ”(ハタケシメジ)の試食、木工教室、森のコンサート、森のクイズラリー、緑のウルトラクイズ など

楽しみながら学習できます！夏休みの宿題もバッチリ！ご家族みなさんでご来場ください！

★森林環境学習にご活用ください★ ～「とちぎの森林・自然環境 改訂版」を発行しました～

県は、小・中学生向け森林環境学習教材「とちぎの森林・自然環境 改訂版」を発行しました。栃木県内のみどりや自然の最新事情がわかりやすく掲載されています。ぜひ、学習にご活用ください。

- A4カラー、24頁
- 内容
栃木県の森林、代表的な樹木、森林のはたらき、「林業」ってなあに？、栃木県の林業、「木」のことを知ろう！、森林はなぜ大切なの？、森林や自然環境を守ろう
- 県ホームページ www.pref.tochigi.lg.jp/eco/shinrin/zenpan/



★子どもたちの木工工作コンクール 作品募集★

- 応募資格
 - ・栃木県内の小中学校の児童・生徒を対象とし、次の3部門別に募集します。応募は学校単位とし、1校当たり各部門10点以内とさせていただきます。
 - ①小学校低学年の部 ②小学校高学年の部 ③中学校の部
- 募集期間及び応募方法
 - ・募集期間：平成22年9月10日(金)まで
 - ・応募方法：栃木県木材需要拡大協議会
TEL028-652-3687までお電話ください。
(参加申込関係書類を学校に送付いたします)
- その他
 - ・作品の大きさなどの条件がありますので、詳しくは上記の応募先にお問い合わせください。
 - ・作品展示会が、わくわくグランディ科学ランド(宇都宮市)で9月18日～25日(25日は午前のみ)に開催されますので、皆様ご来場ください。



平成21年度全国コンクール
林野庁長官賞受賞作品
(那須塩原市立高林小学校5年生(当時))